

私たちの窓は、いつもみなさまに開かれています

今月の色：紅葉

# 白 い ま ど

November  
2016年  
11月1日発行  
No.437

11

## 特集 認知症とともに 安心して暮らせる社会へ P-I

- インフォメーション P-4
- 診療科・センター紹介 脳卒中科 P-5
- 診療を支えるスペシャリスト 老人看護専門看護師 P-6



病院理念 私たちは利用してくださる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人聖隷福祉事業団  
総合 聖隷浜松病院  
病院

# 認知症とともに 安心して暮らせる社会へ



## 認知症は身近な病気

超高齢社会を迎えている日本において、団塊の世代が75歳以上になる2025年には65歳以上の高齢者における認知症の人の割合は、現状の7人に1人から5人に1人になります。つまり、認知症は誰もが関わる可能性のある身近な病気なのです。



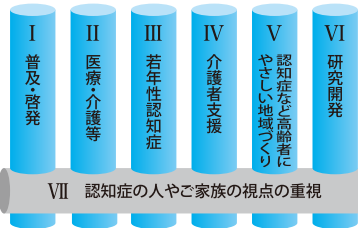
## 認知症にやさしい 地域づくりのために ～日本の取り組み～

日本では、高齢化の進展に対する認知症の施策が推進されています。2012年に策定された「認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）」では、「認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けることができる社会」を目指して、標準的な認知症ケアパス※の構築が推進されました。

※認知症の進み具合や状態に応じて受けることのできる医療・介護・福祉サービスの流れ

さらに、この施策を加速させるために、2015年に「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」が策定され、7つの柱に沿って施策が推進されています。

### 新オレンジプランの7つの柱 認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進



出典：厚生労働省ホームページ

また、世界的にも、2015年の認知症に対する第1回WHO 大臣級会合で「CARE TODAY、CURE TOMORROW（今日のケアと明日の治療）」を実践していくことが認知症対策の方向として示されました。

## 認知症の予防

新オレンジプランに基づく研究開発が推進され、日本で行われた疫学調査の中には、「認知症の有病率は糖尿病の頻度と有意に関連する」という報告があります。さらに、最近の臨床研究では、「脳血管障害」の危険因子の多くが「アルツハイマー型認知症」の危険因子に似通っていることが判明しています。高齢者は「アルツハイマー型認知症」と「脳血管障害」の両方を持つ方が多いことから、脳血管障害に起因する「血管性認知症」と「アルツハイマー型認知症」の関係には連続性があることが指摘され、治療法もこれまでの別々の治療から大きく変貌してきています。



動脈硬化が認知機能の低下に直結するわけではありませんが、動脈硬化を抑えて軽症でも脳卒中・脳血管障害を予防することは、高齢者の認知症予防に結びつくと思われま。したがって、アルツハイマー型認知症予防にも、高血圧、糖尿病、脂質異常など生活習慣病の予防が重要です。



### 当院の取り組み

神経内科は県西部の近隣病院と連携し、「Care・Nursing・Treatment(CNT)プロGRESS」に参画しています。多職種・他分野の方々が face to face で交流できる場を設けて現状問題の討論を重ね、在宅療養支援のための共通指標「ザイタックス」の普及活動を行っています。

## Care Nursing Treatment



文責：神経内科 部長 内山 剛

さらに詳しい情報などを“聖隷浜松病院公式YouTubeチャンネル”で配信しています。ぜひご覧ください。

YouTube 総合病院 聖隷浜松病院

## インフォメーション

### 第6回 脳卒中市民公開セミナー

参加費無料  
申込不要

- 日時 …… 2016年12月17日(土) 13:30~16:00(開場13:00)
- 場所 …… C棟3階中央会議室
- 内容 …… 医師・看護師・栄養士の講演、看護・リハビリ・栄養等による体験コーナー
- お問い合わせ …… 地域医療連絡室(JUNC)  
TEL 053-474-8801 (月~金9:00~17:00)

### 医局管理棟4階 シミュレーション・ラボ、開設!

多岐の機能にわたる  
シミュレータを設置しています

- 呼吸音や脈拍、冷や汗などが再現できる高度なシミュレータ(SimMan3G)
- 一次救命救急の講習ができる乳児や小児(Little Junior, Baby Anneなど)
- 成人の導尿や吸引ができるシミュレータ
- 腹腔鏡手術の縫合訓練器具(エンドワークプロII) など



シミュレーション・ラボは、医療安全と質の向上のために作られたもので、地域の医療従事者の方々もご利用いただけます。今後も様々なトレーニングや研修会を開催する予定です。

詳しくはこちら



### 予告 一部の外来診察室が移転します

精神科、形成外科、皮膚科、口腔外科、歯科、緩和医療科の外来診察室が移転します。移転の時期は、2017年1月中旬頃を予定しています。詳しくは、院内掲示、ホームページ、次号「白いまど」でお知らせします。

## 脳卒中科



### （脳卒中を疑ったらすぐ病院へ！）

脳卒中には、頭の中の血管が破れる「脳出血」や「くも膜下出血」と血管が詰まる「脳梗塞」があります。命をおびやかす恐い病気であり、急に意識を失ったり手足が動かなくなったりします。

一刻も早く診断して治療を開始しないといけない病気のため、脳卒中センターは24時間体制で救急対応をしています。

「もうちょっと様子みまい」では手遅れになります。脳卒中の症状が出たらすぐに病院に来てください。

脳卒中になると命を奪われたり、後遺症を残したりすることも多いので、予防していくことが大切です。脳卒中について理解し予防ができるように、毎年、「脳卒中市民公開セミナー」を開催しています。今年も12月17日に開催しますので、関心のある方はふるってご参集ください。

脳卒中市民公開セミナーの詳細は、インフォメーション(P4)をご覧ください。

文責：脳卒中科 部長 大橋 寿彦(写真 前列左端)

診療を支える  
スペシャリスト

## 老人看護 専門看護師

### 認知症高齢者の ケアを支えます！

近年の超高齢社会に伴い、検査や治療をうけるために入院や外来通院される認知症高齢者が急増しています。認知症高齢者は入院することにより一時的に混乱すること、治療やケアを受けることが困難になることがあります。

今年度、認知症高齢者とその家族へよりよい支援を行うために多職種が連携して「認知症ケアチーム」を立ち上げ、病棟からの相談に応じて、認知症の理解、ケアを共に検討しています。その中で、「老人看護専門看護師」は、入院してきたその時から患者さんの退院後をイメージし、身体疾患の状態だけでなく、認知機能に見合った対応やケア方法の検討、患者さんとそのご家族へのサポートなどを行っています。また、ご家族やスタッフから、認知症を抱えながら生活する上での困りごとや関わり方などの相談を受けています。

今後も、院内外のお他職種と連携を図りながら高齢者がその人らしく安心して生活できるよう支援していきます。

文責：外来・在宅連携  
宗像 倫子(写真上 左から2番目)



▲「認知症ケアチーム」  
神経内科医師、社会福祉士、作業療法士、薬剤師、老人看護専門看護師



▲「認知症ケアチーム」と主治医との患者カンファレンス



# 聖隷浜松病院からのお知らせ

## 初診の方へ 紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診に係る選定療養費として5,400円(税込)を別途ご負担いただいています。

当院は、地域医療支援病院として急性期医療を担い、「かかりつけ医(診療所等)」と役割を分担する病診連携を推進しています。皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

また予約時には、症状や診療科の確認等が必要となることがあります。原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。

やむを得ず患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ 地域医療連絡室(JUNC) ☎053-474-8801

(月～金曜 9:00～17:00・土曜 9:00～12:00/祝祭日を除く)

## 再診の方へ 予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがありますのでお控えください。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡をお願いいたします。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ 外来受付センター ☎053-474-0100 (月～金曜9:00～16:45)

## 面会の方へ

面会時間…(月～土曜)14:00～20:00、(日曜・祝日)10:00～20:00

- 小児科病棟の面会者はC棟1階で手続きをお願いいたします。
- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会をご遠慮いただいています。  
発熱/咳・痰/原因不明の発疹/嘔吐・下痢



社会福祉法人聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

ジョイント・コミッション・インターナショナル認証  
日本医療機能評価機構認定  
地域医療支援病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222  
発行責任者 病院長 鳥居 裕一